

令和7年 業種別労働災害発生状況

(確定)

旭川労働基準監督署

区分 業種別		令和7年			令和6年			対前年		業種割合 (%)	令和5年		
		死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
全産業合計		2	658	660	3	673	676	-16	-2.4	100.0	2	701	703
製造業			95	95	3	86	89	6	6.7	14.4	1	88	89
内 訳	食料品		46	46	1	23	24	22	91.7	7.0		38	38
	木材・家具装備品		12	12		22	22	-10	-45.5	1.8		18	18
	紙・パルプ		2	2				2		0.3			
	窯業・土石		3	3		4	4	-1	-25.0	0.5		6	6
	金属・機械		10	10	1	12	13	-3	-23.1	1.5		12	12
	その他		22	22	1	25	26	-4	-15.4	3.3	1	14	15
土石採取業			3	3		4	4	-1	-25.0	0.5		2	2
建設業			76	76		58	58	18	31.0	11.5		71	71
内 訳	土木工事業		39	39		18	18	21	116.7	5.9		29	29
	建築工事業		28	28		32	32	-4	-12.5	4.2		26	26
	木造建築業		7	7		5	5	2	40.0	1.1		9	9
	その他		2	2		3	3	-1	-33.3	0.3		7	7
道路貨物運送業			69	69		69	69		±0	10.5		58	58
その他の運輸業			12	12		15	15	-3	-20.0	1.8		15	15
陸上貨物運送事業						1	1	-1	-100.0			1	1
林業			5	5		9	9	-4	-44.4	0.8	1	4	5
卸売・小売業		1	87	88		80	80	8	10.0	13.3		80	80
清掃業			42	42		41	41	1	2.4	6.4		34	34
その他の事業		1	269	270		310	310	-40	-12.9	40.9		348	348
内 訳	農業・畜産業		28	28		31	31	-3	-9.7	4.2		24	24
	社会福祉施設		88	88		92	92	-4	-4.3	13.3		149	149
	その他	1	153	154		187	187	-33	-17.6	23.3		175	175

※ 本統計は、労働者死傷病報告書（休業4日以上）により集計したもの。

管轄は旭川市、上川町、愛別町、比布町、当麻町、鷹栖町、東神楽町、東川町、美瑛町、幌加内町、富良野市、上富良野町、中富良野町、南富良野町、占冠村の2市、12町、1村です。

(コメント)

-令和7年業種別労働災害発生状況が確定しました。

令和7年は卸売・小売業及び通信業で死亡災害が1件ずつ発生しました。休業4日以上の労働災害は全体で660件となり、前年から16件(-2.3%)の減少となりました。

建設業では、令和4年、令和5年、令和6年、令和7年と初めて4年連続で死亡災害ゼロを達成しております。

令和8年も引き続き、全産業においてリスクアセスメントを実施し、死亡災害ゼロを目指して、安全衛生活動に取り組んでください。

令和7年 死亡労働災害発生状況

(確定)

旭川労働基準監督署

No.	発 生 月	時 刻	業種	事故 の型	起因物	災 害 発 生 概 況
1	1	14	通信業	交通事故	整地・運搬・積込み用機械	被災者は、バイクにより郵便配達作業中、後退してきた除雪作業中のモーター・グレーダーに激突され、下敷きになったもの。
2	8	14	その他 卸売業	飛来、 落下	フォーク リフト	被災者は、フォークリフトでミニドラグ・ショベルを持ち上げ、ミニドラグ・ショベルの下に潜り込みドレン抜き作業を行っていたところ、ミニドラグ・ショベルがフォークリフトの爪から滑り落ち、被災者がミニドラグ・ショベルの本機と排土板との間に体を挟まれたもの。
/						
/						

※本件事例には、脳・心臓疾患等によるものは、掲載していません。